

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-333442

(43)公開日 平成4年(1992)11月20日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

B 6 5 H 3/60  
3/56

識別記号 庁内整理番号

9148-3F  
320 Z 9148-3F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号 特願平3-128517

(22)出願日 平成3年(1991)5月1日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 小川 宏

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

(72)発明者 青山 武史

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

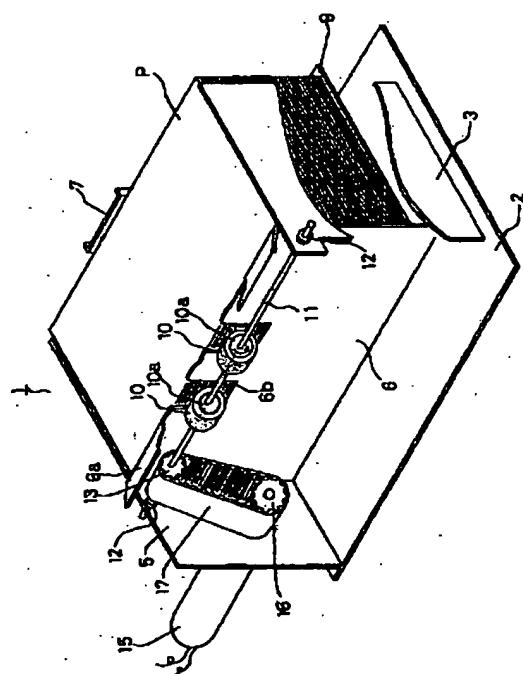
(74)代理人 弁理士 近島 一夫

(54)【発明の名称】 シート積載装置

(57)【要約】

【目的】積載されたシートを確実に捌いて、シート給送時の分離を容易にする。

【構成】シート積載台9上に積載されたシートPの上部の下流端縁を、モータ15によりブーリ16、ベルト17、ブーリ13、輪11を介して反時計回り方向に回転するファーブラシ10により捌く。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】複数枚のシートを重ねて積載するシート積載台と、該シートをさばく手段と、を備えたシート積載装置において、前記さばき手段が積載されたシートの下流側端部に当接されたさばき部材と、該さばき部材を移動させる駆動手段と、よりなることを特徴とするシート積載装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、シート積載装置に係り、詳しくは積載されたシートのさばき手段に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、積載台に重ねて積載されたシートはその下流側端にさばき部材が当接するように固定され、該シートの上下動により該シートがさばかれていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、積載されたシートの上下動の頻度が少く、あるいは上下動の量が少いシート積載装置では、さばき部材がシートをさばく頻度や量も矢張り少ないので、充分シートをさばくことが困難であった。

【0004】そこで、本発明は、シート積載台に積載されたシートの下流側端に当接するさばき部材を駆動手段により駆動することにより、積載されたシートを確実にさばき、分離を容易にできるシート積載装置を提供することを目的とするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、前述の事情に鑑みてなされたものであって、図1を参照して示すと、複数枚のシート(P)を重ねて積載するシート積載台(9)と、該シート(P)をさばくさばき手段(10, 15)と、を備えたシート積載装置(1)において、前記さばき手段(10, 15)が積載されたシート(P)の下流側端部に当接されたさばき部材(10)と、該さばき部材(10)を移動させる駆動手段(15)と、よりなることを特徴とする。

## 【0006】

【作用】以上の構成に基づき、シート積載台(9)に複数枚重ねて積載したシート(P)をさばき手段(10, 15)によりさばき、この際、駆動手段(15)によりさばき部材(10)が駆動されて、シート(P)の下流側端部をさばく。

【0007】なお、前記カッコ内の符号は例示であつて、何等本発明を限定するものではない。

## 【0008】

【実施例】以下、図面に沿って本発明の実施例を説明する。

【0009】図1はシート積載装置1を示す。2は底板であり、この底板2に左側板3、右側板5、前側板6、

50 図。

後側板7が夫々固定されており、シート積載台9が図示しない駆動モータにより上下動するようになっている。そして、前側板6の上端部が前方に傾斜してシートPの搬送路6aが形成されている。

【0010】そして、前側板6の垂直部の上端に切欠6bが形成されており、この切欠6bにファーブラシ10が覗くように配設されていて、シート積載台9上に積載されたシートPの前端部にファーブラシ10が当接されている。そして、このファーブラシ10はブラシ芯10aを介して軸11に固定され、この軸11が軸受け12を介して左右側板3, 5に軸支され、この軸11に従動ブーリ13が固定されている。そして、右側板5の外側に固定されたモータ15の右側板5を貫通する軸に駆動ブーリ16が前記従動ブーリ13に対向して取付けられており、これ等ブーリ13, 16にベルト17が巻き掛けられている。

【0011】なお、図2に示すように、19はピックアップローラ、20は搬送ローラ、21はリタードローラである。

20 【0012】以上の構成に基づき、モータ15に駆動されて、ブーリ16、ベルト17、ブーリ13、軸11を介して、ファーブラシ10が矢印方向に回転し、このファーブラシ10がシートPの上層部をさばく。

【0013】次に、図3に沿って他の実施例を説明する。

【0014】本実施例においては、前側板6の外側にガイド部材22が取付けられ、このガイド部材22に振動棒23が上下方向に案内されるようになっていて、この振動棒23にホルダ25aを介してマジックテープ25が取付けられており、このマジックテープ25が切欠6bに覗いていて、シートPの上層部に当接するようになっている。そして、前記振動棒23の下部に丸孔23aが設けられていて、この丸孔23aに円板カム26が回転自在に挿嵌されている。そして、この円板カム26が偏心して、固設されたモータ27の軸に取付けられている。

【0015】上記の構成に基づき、モータ27が偏心した円板カム26を回転すると、この円板カム26がその偏心量だけ振動棒23を上下するので、マジックテープ25がホルダ25aを介して、上下に移動して、シートPの上層部をさばく。

## 【0016】

【発明の効果】以上、説明したように、本発明によれば、さばき手段のさばき部材が積載されたシートの下流側端部を駆動手段により動かすので、確実にさばくことができる。従って、確実にさばかれたシートは確実に分離送部で分離されて給紙できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示すシート積載装置の斜視

3

4

【図2】その側面図。

【図3】他の実施例の側面図。

【符号の説明】

1 シート積載装置

9 シート積載台

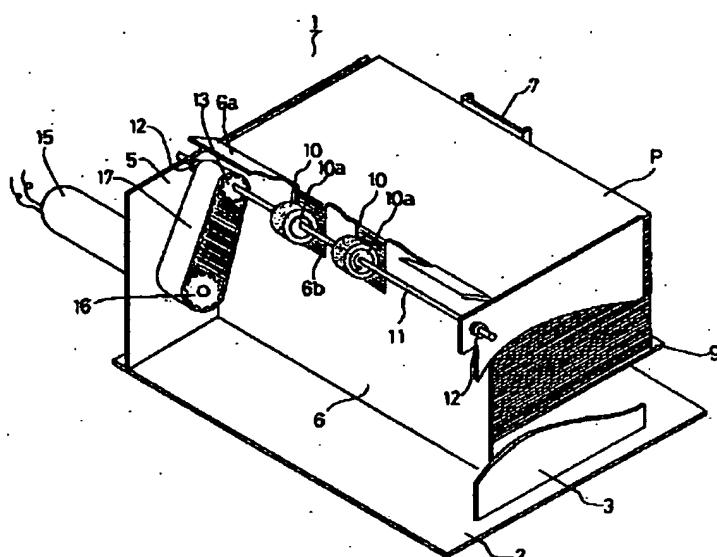
10 裁き部材(ファーブラシ)

10, 15 裁き手段(ファーブラシ、モータ)

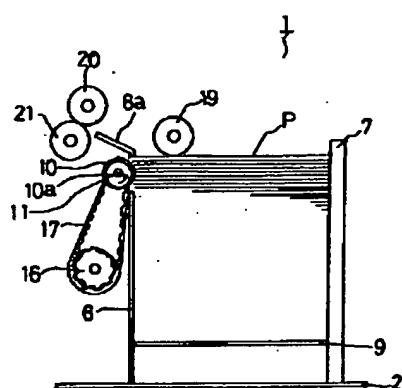
15 駆動手段(モータ)

P シート

【図1】



【図2】



【図3】

